

単元名 2 新しい視点で 一話の構成を工夫しよう

配当時間 4時間

単元の目標

- (2) 自分らしさを伝えるための話題を選び、工夫してスピーチをすることができる。
 (3) 自分のことが聞き手に分かってもらえるように、スピーチを行うための話題を積極的に探そうとする。

標準的な展開例

10210111_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 自分の「好きなもの」を挙げて話題を決め、自分らしさを効果的に伝えるために必要な事柄を考えて、紹介する内容を考える。 ○ 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★学習の見通しをもち、自分の伝えたい内容を整理する。 ○ スピーチについて確認する。</p> <p>○ 自分の好きなものを挙げ、その中から友達に紹介したい話題を決める。</p> <p>○ 決めた話題について、自分らしさを伝えるために必要な事柄を考える。</p> <p>2 スピーチの構成を考えて、スピーチメモを作り、練習する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★スピーチメモを作り、練習をして構成を見直そう。 ○ スピーチの構成や時間についての説明を聞き、自分のスピーチのイメージをもつ。</p> <p>○ スピーチの構成を考え、スピーチメモを作る。</p> <p>○ スピーチメモを基にスピーチの練習をする。</p> <p>○ スピーチ練習を振り返り、互いの助言を基にもう一度構成を見直す。</p> <p>3 スピーチの会を開き、自分の「好きなもの」について紹介する。 ○ 本時の学習活動をつかむ。 ★聞き手を意識してスピーチを行い、互いに評価しよう。 ○ スピーチの会について留意事項を確認する。</p> <p>○ 評価の観点と評価表の記入の仕方を確認する。</p>	<p>・「リード文」「目標」「学習の見通しをもとめ」(p. 54)を読み、学習の流れをつかませる</p> <p>・小学生の時のスピーチ内容を思い出させる。</p> <p>・本教材の学習は、互いのことをよく知るためのスピーチであることを確認させる。</p> <p>・「話題を決める」(p. 54)を参考にして、いろいろな角度から自分の好きなものについて挙げさせる。</p> <p>・学習プリントを用意して記入させるとよい。</p> <p>・「材料を選ぶ」(p. 54)を読み、好きなものに出会ったきっかけや好きになった理由、具体的な体験など紹介するのにふさわしい内容になるように事柄を挙げさせる。</p> <p>【評】決めた話題について、自分らしさを伝えるための事柄を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・1分程度でスピーチを行うことを確認する。</p> <p>・ストップウォッチを使って時間を計り、「1分」という時間を実感させるのもよい。</p> <p>・300～350字程度の字数になることを確認させるとよい。</p> <p>・どのような順番で話せば聞き手に分かりやすく伝わるスピーチになるのかを考え、構成を工夫させる。</p> <p>・「スピーチメモの例」(p. 56)を参考に、話の組み立てを考えさせる。</p> <p>・話の流れを確認するメモを作ることを確認し箇条書き程度で準備させる。</p> <p>・実態に応じて、原稿を先に書かせ、それを基にメモを作らせてもよい。発表の際には原稿は使わせないようにする。</p> <p>・3～4人のグループを作って、互いに聞き合わせる。</p> <p>・互いに聞き合う際には、「質疑応答の例」(p. 57)を参考にして助言させる。</p> <p>・自分以外の人について気付いたことを学習プリントに記入させる。</p> <p>・声の大きさや話す速さ、表情、身振りなどを振り返らせる。</p> <p>【評】スピーチの構成を見直す活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・聞く相手に伝えようとする気持ちを大切にスピーチを行うことを確認する。</p> <p>・自分のスピーチに集中するだけでなく、聞き手としてのマナーや雰囲気を大切にさせる。</p> <p>・事前に観点表を配付しておくともよい。</p> <p>・以下の観点に沿って、評価をさせるとよい。</p>

○スピーチの会を開く。

○スピーチを聞いて互いに評価を行う。

4 自分のスピーチを振り返り、スピーチの会の感想を伝え合う。

○本時の学習活動をつかむ。

★スピーチの会を振り返り、感想を伝え合おう。

○前時のスピーチを振り返り、グループで感想を交流し合う。

○感想を全体で伝え合う。

○これまでの学習を振り返る。

- ①分かりやすい内容であったか。
- ②その人らしさが伝わったか。
- ③声の大きさや話す速さは適当か。
- ④発音は聞き取りやすいか。
- ⑤分かりやすい言葉遣いであったか。
- ⑥その他のよかった点。

・1分程度のスピーチであるが、緊張の度合いや間の取り方の関係で、時間が前後することを考慮する。

・聞き手の反応を確かめながら発表させる。

【評】これまでの学習を踏まえスピーチをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・観点表を使って評価をさせる。

・3～4人のグループを作って活動させる。

・感想をまとめることのできる学習プリントを準備しておくといよい。

・よかったことや質問したいことを出し合わせる。

【評】感想を交流する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・グループの代表者に話し合った内容を発表させる。

・「つなぐ」(p.55)を基に、自分のスピーチについて自己評価をさせる。

【 備 考 】

中学校での本格的な国語学習として、このまとまりでは、説明文の読みや記録の仕方の工夫について練習するなどして、説明や記録の基本的な事項について考えていく。現行の学習指導要領の特徴の一つは表現の工夫を読み取ることにあり、そこに焦点化する最初の学習となる。展開の違う二つの文章を読むことを通して、表現の工夫に気付かせたい。

また、好きなものを紹介する活動や情報の集め方を知る活動は、より広く多様なものの見方などに触れることができる。「情報社会を生きる」では、中学校での情報活用能力についての学習の基本として押さえておきたい。